

4) ぶ ど う

(1) 防除法 (殺菌剤)

【注意】乳剤及び水和剤等で「150～3000」等と記載した 10a 当り散布液量（または希釈水量）は、作物の生育段階や散布作業等を考慮した目安である。農薬使用に当たっては、必ず農薬容器のラベルを確認し、使用方法に散布液量（または希釈水量）の記載がある場合は、その量を遵守すること。

病 害 虫 名	防除適期	防 除 方 法	備 考
褐 斑 病	落葉期間 (11月～3月) 5月上旬 ～収穫後	○ 園内を清掃する。 ○ 次の薬剤いずれかを散布する。 オーソサイド水和剤 80 ジマンダイセン水和剤	
黒とう病	落葉期間 (11月～3月) 休眠期 5月上旬 ～収穫後	○ 前年の被害つる、被害果粒は集めて適切に処分する。 ○ 次の薬剤いずれかを散布する。 パスポート顆粒水和剤 ベンレート T 水和剤 20 ○ 次の薬剤いずれかを散布する。 ジマンダイセン水和剤 マネーじ D F	
さ び 病	落葉期間 (11月～3月) 7月上旬 ～収穫後	○ 園内を清掃する。 ○ 次の薬剤いずれかを散布する。 オンリーワンフロアブル ジマンダイセン水和剤 アミド系剤 フルーツセイバー	○ アミド系剤及びアミド系混合剤の使用は、合わせて年 2 回までとし、連用しない。 (耐性菌出現防止)
灰色かび病	落葉期間 (11月～3月) 発芽前 ～開花期 開花直後 ～落弁期 開花期 ～幼果期	○ 被害枝を剪除する。 ○ 次の薬剤いずれかを散布する。 オーソサイド水和剤 80 トップジン M 水和剤 ○ 次の薬剤いずれかを散布する。 ゲッター水和剤 スイッチ顆粒水和剤 パスワード顆粒水和剤 ○ 次の薬剤いずれかを散布する。 オンリーワンフロアブル ストロビルリン系剤 ファンタジスタ顆粒水和剤 アミド系剤 フルーツセイバー ロブラール水和剤	○ スイッチ顆粒水和剤及びパスワード顆粒水和剤は、果実肥大中期（あずき大）以降（有袋栽培の場合は袋掛け前まで）の散布は避ける。 (果粉の溶脱防止) ○ パスワード顆粒水和剤は、スチューベン等一部品種で展葉直後の若葉に葉害の恐れがあるので注意する。 ○ ストロビルリン系剤及びストロビルリン系混合剤の使用は年 1 回とし、連用しない。 (耐性菌出現防止)
晩 腐 病	落葉期間 (11月～3月) 休眠期 5月下旬 ～8月中旬	○ 前年の被害つるや巻きひげなどは、剪除し集めて適切に処分する。 ○ 次の薬剤を散布する。 デランフロアブル パスポート顆粒水和剤 ○ 次の薬剤いずれかを散布する。 ストロビルリン系剤 アミスター 10 フロアブル オーソサイド水和剤 80 ホライズンドライフロアブル ○ 被害粒は見つけ次第摘み取る。	○ ストロビルリン系剤及びストロビルリン系混合剤の使用は年 1 回とし、連用しない。 (耐性菌出現防止) ○ アミスター 10 フロアブル及びホライズンドライフロアブルは、果実肥大中期（あずき大）以降（有袋栽培の場合は袋掛け前まで）の散布は避ける。 (果粉の溶脱防止)